

KOJIMAGUMI

Corporate Profile



世界の港に わんりよく 湾力を。



轟音を上げ、一掴みで海底から大量の土砂をさらう世界最大のグラブ浚渫船「五祥」。

小島組が独自に開発した作業船です。

「浚渫(しゅんせつ)」とは、港湾の水底にある土砂を取り除き航路をつくる“海の道路工事”とも言える仕事。近年、世界の国際戦略港湾では大型船が安全に航行できるよう航路を増深・拡幅することが求められており、「浚渫」の重要性が増してきています。

小島組は世界トップレベルの浚渫技術で、世界中の港を活性化しています。

| Greeting

小島組創立以来、百余年。

建設業の環境は、時代を追うごとに大きく変化してまいりました。ほぼ手作業の時代を経て、機械化が進み、大型化し、作業効率は画期的に進化し続けました。受注環境も高度成長期を背景に大量のインフラ整備があり、建設業界は右肩上がりの繁栄を見せました。

一方で贈賄など、マスコミ等で取り上げられたコンプライアンス違反も行われ、国民の皆さんに対して悪い印象を与える会社が多く存在しておりました。

その後、時代も移り、先に挙げたようなコンプライアンス違反は、ほぼ無くなってまいりました。そして現在、国交省のご指導により、働き方改革を推進し、建設業界は様変わりしようとしています。

コンプライアンスの遵守はもちろんのこと、適正な休日の確保や過度な残業の防止、次世代の機械化とDXによる管理能力の向上、カーボンニュートラルへ向けたCO₂削減の推進、そして、受注企業が適正な利益を確保し、健全な企業成長ができるよう、多くの会社の変化の過渡期にあります。

小島組は、この多くの課題を正面から受け止め、現実的な対応を図っています。

わが社の得意とする作業船の全自動運転システムの開発、デジタル化、バイオ燃料の使用、省エネ化、陸上電力供給システムの導入などを推進するとともに、監督員や船舶職員の増員による具体的且つ現実的な策により、着実に実現できるよう対応しております。

建設業界がやりがいのある、憧れの業界となるための一助になれば嬉しく思います。

経営理念の一つとして社員の生活を護るという一節があります。何よりも社員の生活を護ることを第一として、次の100年まで邁進してまいります。



代表取締役社長 小島徳明

浚渫 (しゅんせつ)

船の航行や荷役作業ができる水深・水域を確保するために海底の土砂を掘ることを「浚渫」と言います。浚渫により、航路・泊地・岸壁が整備、維持管理されることで、港では船が港内をスムーズに航行し、貨物の積込みや荷下ろしをスピーディに行うことができますようになります。



密閉二重構造グラブ浚渫工法

グラブで掘った泥土・浮泥を、グラブに直接接続したパイプを通して土運船へ揚土。海水の汚濁を大幅に減らしながら、省エネ浚渫を実現できる環境対応型の新工法です。



港湾土木

港は物流拠点として経済活動を支えるとともに、多くの人の憩いの場にもなっています。これらの機能や役割は、さまざまな土木技術を駆使した港湾施設の整備により成り立っています。地震や津波など、自然災害の脅威から港を守るのも港湾土木の役割です。



埋立て・揚土

護岸で囲われた海域に土砂を投入し、新たな土地を作ることを「埋立て」と言います。国土の狭い日本では、古くから臨海部で埋立てが行われてきました。人間が使いやすい平らな土地を作り出す重要な仕事ですが、近年ではより環境に配慮した埋立て揚土技術が求められています。



管中混合固化処理工法

グラブ浚渫した浚渫土砂を空気圧送船にて揚土する際に固化材を添加。圧送管内で発生するプラグ流による乱流効果を利用して土砂と固化材を攪拌混合する新工法です。



陸上土木

高速道路に上下水道、河川やダム of 整備・維持管理など、「陸上土木」は私たちの生活に密接な関わりがあります。小島組は土木工事のプロフェッショナルとして、確かな技術力で「街づくり」に貢献しています。



たゆまざる自社技術の開発により、
作業効率の向上を目指し
株主に感謝し社員の生活を護り、
社会に貢献する

会社概要

商号	株式会社 小島組
本社所在地	〒455-0021 愛知県名古屋港区木場町1番の6 電話 (052)691-7070(代)
代表者	代表取締役 社長 小島徳明
創業	大正8年6月
株式会社組織変更	昭和16年12月
資本金	9,000万円
決算	年1回5月
従業員	204名(2024年5月現在)
主たる業務	浚渫埋立及び土木一式工事請負 並びに付帯関連業務一般
建設業の種類	土木工事業 / とび・土工工事業 ほ装工事業 / しゅんせつ工事業

支店・営業所

東京支店	〒104-0032 東京都中央区八丁堀3丁目22番11号 (八丁堀千島ビル6F) 電話 (03)3297-1681
大阪支店	〒555-0025 大阪府大阪市西淀川区姫里1丁目24番5号 (三堂ビル2F) 電話 (06)6477-1161
横浜営業所	〒231-0014 神奈川県横浜市中区常盤町1丁目2番1号 (サンネット関内ビル3階D号室) 電話 (045)201-7016
茨城営業所	〒314-0031 茨城県鹿嶋市宮中217番地2号(藤廣ビル) 電話 (0299)83-8799
知多営業所	〒476-0002 愛知県東海市名和町砂崎8番地 電話 (052)601-0169
常滑営業所	〒479-0837 愛知県常滑市新開町1丁目95番地 電話 (0569)34-9793

沿革

1919年(大正8年) 6月	愛知県知多郡上野村(現・東海市名和町)で創業	1988年(昭和63年) 5月	資本金を80,800,000円に増資
1941年(昭和16年) 12月	株式会社組織変更(資本金198,000円)	1993年(平成5年) 6月	風力搬送船(空気圧送船)AP1000良成丸建造
1948年(昭和23年) 4月	浚渫事業を始める(堀川浚渫工事)	1995年(平成7年) 6月	超大型グラブ浚渫船(200㎡グラブバケット)東祥建造
1954年(昭和29年) 3月	木造グラブ浚渫船 第1良成丸建造	2000年(平成12年) 5月	2隻目の超大型グラブ浚渫船 (200㎡グラブバケット)五祥建造
1957年(昭和32年) 9月	名古屋市港区木場町に本社移転	2004年(平成16年) 8月	五祥、東祥による中山水道航路浚渫工事完了
1959年(昭和34年) 3月	鋼製グラブ浚渫船 第10良成丸建造	2008年(平成20年) 10月	初の海外進出となるサウジアラビアでの浚渫工事に参画(五祥)
1963年(昭和38年) 3月	資本金を18,000,000円に増資	2012年(平成24年) 4月	初のアフリカ進出となる南アフリカでの浚渫工事に参画(東祥)
1967年(昭和42年) 4月	東京支店設置	9月	資本金を90,000,000円に増資
1970年(昭和45年) 6月	アンカーレスグラブ浚渫船 第61良成丸建造	2014年(平成26年) 6月	初の東南アジア進出となるシンガポールでの浚渫工事に参画(第661良成丸)
1975年(昭和50年) 3月	アンカーレス移動装置(2本スパッド)特許取得	2019年(令和元年) 6月	創業100年
11月	資本金を36,000,000円に増資		
1984年(昭和59年) 7月	大阪支店設置		
1985年(昭和60年) 9月	カウンターウェイト方式による重錘油圧式グラブ浚渫船第261良成丸建造		



愛知県知多郡上野町(現・東海市)議会議長を務めた創業者・小島良一の「良」の字を、土木作業に使うスコップなどに焼印したのが社章の由来と言われています。戦後、復員した小島朗夫・第三代社長(故人)がデザイン化し、日本を囲む美しく青い海の色をイメージカラーとしました。米沢藩主・上杉鷹山の師で、郷土の誇りである江戸時代の儒学者・細井平洲(現・愛知県東海市出身)の言葉に、「学、思、行、相まって良となす」とあり、現場に学び、考え、実行し、社会に貢献することを目的とする当社の核心を表しています。



株式会社 小島組

ホームページ : <https://www.kk-kojimagumi.co.jp>



ホームページ



リクルートサイト



インスタグラム



しゅんたくん